

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

2017年11月13日

助成事業実施報告書 特定非営利活動法人 青少年の自立を支える群馬の会

団体名 自立援助ホームぐんま風の家

代表者・役職名 氏名 理事長 中島資浩

理事長 山崎弘一

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

児童の生活環境整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成17年4月にNPO法人青少年の自立を支える群馬の会として、当時前橋青年会議所のメンバーが自立支援施設ぐんま学院の協力会を作りボランティアをしていました。その施設を閉鎖した子ども達が行く場がない事に気づき自立支援するために創設されました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

女子のホームであり、毎日使用するトイレがウォシュレットの故障と排水の故障で、とても不便でした。一日のスタートが気持ち良く出発できるよう早急な対応が必要でした。IH1の工事もバイトと学校と忙しい生活の中で、使用後の後かたづけとそうじがとても楽になり時間の短縮ができるようになりました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

・2階トイレ工事 便器の交換、給配工事
・キッチンIHレンジ取付け工事、電源工事

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

自立の練習のために、自分の事は自分でするよう指導しています。朝食、昼食作りは各自で行って帰っています。1回キッチンを使用するたびに手洗いや拭き掃除がこれかたづけが大変な中、カズ缶のそうじはとても大変でしたが、ゴトクがなくなりとても牛間がはなげけるようになりました。又火を使わなくなったので、油を使った料理(揚げ物)なども安心して出来るようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

これからアパートを捜し、自立していきるとも運が、毎日時間に余裕を持って計画的にしっかり積性を持って日々生活して欲しいと思います。ご支援本当にありがとうございました。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



